

学校の現場から

東京大学教育学部附属中等教育学校

村石 幸正・樗府 暢子

附属学校についてのメリット

- ◎ 大学との関係が深まる
- ◎ 各分野の専門的知識や研究状況を知ることができる。
- ◎ 他教科の内容を知り、関連付けた授業ができる。
- ◎ 幅広い授業のとらえ方ができる。
- ◎ 附属学校の状況を理解してもらうことができる。
- ◎ 学校を外部に開き、教員、生徒への刺激となる。
- ◎ 授業検討会、アンケート、報告書など結果を評価・報告・共有する機会ができる。

各分野の専門性が高い

- ◎ 大学との関係が深まる
- ◎ 各分野の専門的知識や研究状況を知ることができる。

⇔授業内容がある部分に特化している。

専門性の高い授業を誰が行うか、
変化する社会情勢などに基づく教材の更新、サポートは？
多岐にわたる内容のどこまでを全員が知るべきか

教科横断型授業

- 他教科の内容を知り、関連付けた授業ができる。

⇔学習の流れとの関連

⇔教科のかべ

- 幅広い授業のとらえ方ができる。

学習指導要領全体を見渡したリンク
授業が授業で終わらない工夫
メタ文法能力など教え方の普及

学校の状況

- 附属学校の状況を理解してもらうことができる。

⇔目いっぱい（教師、生徒）

- 学校を外部に開き、教員、生徒への刺激となる。

⇔一過性

時間の確保、生徒のニーズにこたえるには
学校文化と関連し、継続していくには

評価

- 授業検討会、アンケート、報告書など結果を評価・報告・共有する機会ができる。

⇔ 直後の状況

長期的な効果をどう評価するか
現在の学力評価で対応できるか
QOLへつながる学び